

2019 年度事業報告

事業の概況

認定された公益目的事業を継続し、着実に実施した。また、協会運営についても、円滑に実施することが出来た。当年度に行った事業の概況は次の通りである。

I 公益目的事業部門

1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業

(公益目的事業1)

(A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業

全国直営校 81 教室、指定校(自宅で料理教室開催)150 教室、親子料理教室 36 教室の合計延 390,900 名の生徒に対し、当協会が農学博士と共に実施するセミナーや砂糖工場見学等を通して糖類の正しい知識を理解させた専任講師が、通常の料理教室と食文化講座及び親子向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。啓発の「費用対効果」を確認するため、全職員が各地の教室へ代る代る訪問し、講師、生徒と交流、公益目的事業の促進を図った。また、教室の生徒へのアンケート調査を実施した。

イ. 東日本直営校 40 教室 延 194,100 名

ロ. 西日本直営校 41 教室 延 168,900 名

ハ. 指定校 150 教室 延 27,000 名

ニ. 親子料理教室 36 教室 延 900 名

(B) 糖類セミナー事業

(1) 各都市の地元ラジオ局やテレビ局と連携を取りながら、広く募集告知を行いセミナーを開催。講師(農学博士)と参加者との間で質疑応答や意見交換などを行い、職員が出張、参加して積極的な交流を図ることで糖類に関する正しい知識の理解を促進した。また、参加者へのアンケート調査を実施した。セミナー終了後にニュース等でもトピックスとして放送、更に啓発活動を高めた。

<開催概要>

イ. 2019 年 6 月 27 日 松山市 後援 南海放送

応募者 153 名 参加者 105 名 アンケート回答者 99 名

ロ. 2019 年 7 月 18 日 福島市 後援 ラジオ福島

応募者 140 名 参加者 101 名 アンケート回答者 93 名

ハ. 2019 年 10 月 17 日 浜松市 後援 静岡放送

応募者 105 名 参加者 92 名 アンケート回答者 87 名

ニ. 2019 年 11 月 14 日 東京都 後援 ニッポン放送

応募者 1,200 名 参加者 310 名 アンケート回答者 306 名

(2) 東京セミナーに向けて、より深く糖類に関する知識の普及・啓発及び食育の啓蒙を図るため、東京セミナーの提携ラジオ局の(株)ニッポン放送を通じてオリジナル番組を年間数十回放送し好評を得た。尚、この事業は特定費用準備資金よりの第5回目(最終)の糖類セミナー拡大事業(1千万円/年)を含んでいる。

(C) ジャパンレディースボウリングクラブ(JLBC)との連携による普及・啓発事業

誰もが手軽に楽しめて健康増進に役立つ、スポーツ部門の参加率 No.1 を誇るボウリングを通じて老若男女を対象として、普及・啓発事業を実施した。ジャパンレディースボウリングクラブ(JLBC)と連携している全国のボウリング場から厳選した 50 ボウリング場にて、「砂糖は脳と体に大切なエネルギー」の横断幕及びポスターを掲出、当会刊行の啓発パンフレット配布及びアンケート調査を実施した。

また、随時職員が出張して検分した。(啓発対象集客数 延 820,000 名)

(D) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とした、(一財)日本ドッジボール協会主催、スポーツ庁、(公財)日本体育協会等の後援の全日本小学生ドッジボール選手権、夏季大会及び地方大会に協賛した。

全国 47 都道府県で予選を行い代表チームが全国大会〔於、ADASTRIA MITO ARENA (茨城県水戸市)〕出場。予選及び全国大会の参加者とその家族及び観衆に対して、職員が出張して普及・啓発事業実施。

また、全国大会の出場選手に対してアンケート調査を実施した。

(参加 627 チーム、参加人数 25,080 名)

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

(公益目的事業 2)

(1) 「FRP 成形用ガラス繊維マットに用いる加糖澱粉集束剤の開発」

一般社団法人 G P I 標準化委員会 理事 辰巳 泰我 氏

(2) 「水の奇跡を呼んだ男—日本統治時代の台湾で、日本初環境型ダムを造った男・鳥居信平」のドキュメンタリー映像の DVD 制作

映像制作プロデューサー 池田 圭介 氏

戦前の製糖業の熱気を知る人物の貴重な証言や、跡地の現在の様子をビデオカメラで記録・撮影し紹介した。

(3) 「糖とオリゴ乳酸によるがん患者の生活の質の改善」

大阪大谷大学薬学部 教授 村上 正裕 氏

上記 3 件に対し助成し、種々必要な資料を提供した。

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業 3)

(1) 資料、情報収集のための学会、シンポジウムへ参加した。

〔農学博士 橋本 仁 氏〕

① 澱粉研究懇談会

1. 開催地 静岡県伊東市

2. 開催日 2019 年 5 月 30 日～6 月 1 日

3. 会の内容 約 150 人の参加者はいずれも産官学の糖質の研究者、事業者などであり、全員が会場に宿泊し研究結果の報告や情報の交換を行う会。

② 日本応用糖質科学会シンポジウム

1. 開催地 岐阜県岐阜市

2. 開催日 2019 年 9 月 3 日～5 日

3. 会の内容 多糖類の澱粉から単糖類のブドウ糖に至る糖質に関する産官学の研究者が年に一度会合し、研究発表と情報交換を行う会。過去の研究実績により学会賞・奨励賞・技術開発賞等が授与される。

③ 日本環状オリゴ糖シンポジウム

1. 開催地 兵庫県神戸市

2. 開催日 2019 年 9 月 11 日～12 日

3. 会の内容 環状オリゴ糖研究者が一堂に会し、研究発表、情報交換を行う会。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより

広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業4)

- (1) 特定美術品 62 点を秋田県仙北市立角館町平福記念美術館へ無料で貸出展示
展覧会「名品と出会う企業コレクションによる日本近代洋画展」を開催した。
〔2019年4月10日～6月27日〕 入場者数 延 3,667 名
- (2) 所蔵美術品展を当協会館内に於いて開催した。
〔2019年10月7日～11日〕 展示作品数 37 点 来館者数 延 131 名

II 収益事業部門

1. 会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業
(収益事業1)

- (1) 会館の賃貸業務及びビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高め、これを財資とする公益事業の拡大に努めた。
- (2) 3階旧娯楽室を改造し、図書の整理、充実を図り、高齢化社会に対応した社会参加の場と機会を提供する「生涯学習室」を設け、生涯学習の推進をスタートした。

III 管理部門

1. 講演会の企画、開催

会員等の連帯感、教養を高めて公益目的事業への更なる協力を促すため、また広く門戸を開き関係者の教養を高める為、各業界の著名な講師による講演会を次の通り開催した。

- | | | | | |
|----|-------------|-------------------|--|-------|
| イ. | 2019年 4月25日 | 「健康な身体づくりの基本」 | NHK テレビ・ラジオ体操指導者 日本工業大学非常勤講師 | 多胡 肇氏 |
| ロ. | 2019年 7月25日 | 「消費税増税と日本経済への影響」 | 東京財団政策研究所研究主幹 中央大学法科大学院特任教授 | 森信茂樹氏 |
| ハ. | 2019年 9月19日 | 「我がボウリング人生-50年」 | ジャパンレディースボウリングクラブ (JLBC) 会長 | 石井利枝氏 |
| ニ. | 2019年10月17日 | 「内外経済の現状と展望」 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)執行役員調査部長 | 中塚伸幸氏 |
| ホ. | 2019年11月20日 | 「国際ビジネスマンの日本千思万考」 | 株式会社営業力開発研究会 (EKK) 特別顧問 | 上田和男氏 |
| ヘ. | 2020年 2月13日 | 「ポストゲノム時代の脂質研究」 | 東京大学名誉教授 国立国際医療研究センター研究所プロジェクト長
公益財団法人微生物化学研究会 常務理事 | 清水孝雄氏 |

2. 会報の発行

協会の公益事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、会員をはじめ協会の関連団体に向けて発行した。

3. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行うと共に、引き続き経費の節減に努めた。

4. 協会のホームページを作成し、不特定多数を対象とする情報活動も可能とした。

協会運営に関する事項

1. 社員総会

2019年6月20日午前11時より、当協会会議場に於いて、第8回社員総会を開催(出席正会員294名/正会員総数400名)次の議案を付議した。

- 第1号議案 2018年度事業報告並びに2018年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件
原案の通り承認可決した。
- 第2号議案 理事9名選任の件
原案の通り承認可決した。
- 第3号議案 監事2名選任の件
原案の通り承認可決した。
- 第4号議案 定款一部変更の件<特別決議>
原案の通り承認可決した。

報告事項 2019年度事業計画書並びに収支予算書(正味財産増減予算書)について説明があった。

2. 理事会

当年度中14回開催され、総会提出議案のほか、「公益社団法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

3. 専門委員会

(1) 総合企画委員会(委員長 塚西治信氏ほか5名)

当年度中3回開催され、糖業協会の課題の整理と方向付けについて審議し理事会に答申した。

(2) 会員委員会(委員長 矢田幸雄氏ほか6名)

当年度中4回開催され、会員の入会申込み者の選考、会員の現状と課題について審議し理事会に答申した。

(3) 公益委員会(委員長 岩崎充利氏ほか8名(うち2名社外特別委員))

当年度中3回開催され、公益事業関係予算、公益事業計画等を審議し理事会に答申した。

(4) 行事委員会(委員長 橋本仁氏ほか6名)

当年度中3回開催され、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

(5) 美術品委員会(委員長 相原英樹氏ほか7名(うち2名社外特別委員))

当年度中2回開催され、美術品関係予算、特定美術品の展示、公開、国公立美術館への貸出し等につき審議し理事会に答申した。

4. 登記及び監督官庁への届出事項等

- (1) 2019年6月27日、2018年度の事業報告等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。
(2) 2020年3月26日、2020年度の事業計画書等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。

5. 会員入退会者数(2019年4月1日~2020年3月31日)

入会	法人正会員	0社
	個人正会員	5名
	個人賛助会員	6名
退会	個人正会員	46名(うち死亡11名)
	個人賛助会員	2名

6. 会員数(2020年3月31日現在)

法人正会員	17社(前年3月末	17社)
個人正会員	351名(前年3月末	392名)
個人賛助会員	42名(前年3月末	38名)
会員総数	410名(前年3月末	447名)

以上